

令和5年7月3日

研究研修・調査報告書	会 派 名 未来ネット	
	代 表 者 名 鈴木 利信	
	無所属議員名	
研究研修・調査 議 員 名	鈴木 利信 地野 誠一郎	
研究研修・調査 日 程	R5年5月24日 ~ R5年5月26日	
研究研修・調査 報 告	1	研究研修会開催地・調査先進地 明治大学
		研究研修・調査内容 DX時代の地方創生
	2	研究研修会開催地・調査先進地 参議院会館
		研究研修・調査内容 カーボン・ニュートラルに関する政策動向
	3	研究研修会開催地・調査先進地 参議院会館
		研究研修・調査内容 地域における脱炭素の取り組み
	4	研究研修会開催地・調査先進地
		研究研修・調査内容
	5	研究研修会開催地・調査先進地
		研究研修・調査内容

研究研修・調査報告（所感、提言事項、課題等）

1

研究研修会開催地・調査先進地

明治大学

研究研修・調査内容

DX時代の地方創生 ～自治力を高める～

・社会インフラ管理の重要性と人材育成

石川雄章

・新たな議会の挑戦 ～議員政策争奪の推進～

田村 琢実（埼玉県議会議員）

・教育と音楽とスポーツの個性をのびやかに

清水 聖義（太田市長）

・スマートシティの新たな挑戦

宮元 隆（カレダ市長）

・出生率 2.95 人口維持のまちづくり

～町全体で子育て～

奥 正親（奈義町長）

・エネルギーカレッジ

自治力を高めるには

牛山久仁彦（明治大学）

宮白真司（都立大学）

金井利之（東京大学）

研究研修・調査報告（所感、提言事項、課題等）

2

研究研修会開催地・調査先進地

参議院会館

研究研修・調査内容

カーボン・ニュートラルに関する政策動向（経済産業省）

・GX実現に向けた取組について

・カーボン・ニュートラルに向けた各国動向

・主要国の気候変動関連政策動向

・経済産業省 環境政策課

課長補佐 大能 直哉

・産業技術環境局 環境政策課

総括係長 高谷 茉莉子

” ”
総括係長 太田 優人

年 月 日

研究研修・調査報告書	会 派 名 未来ネット	
	代 表 者 名 鈴木 利信	
	無所属議員名	
研究研修・調査 議 員 名	鈴木 利信 北野 誠一郎	
研究研修・調査 日 程	令和 5年10月25日 ~令和 5年10月27日	
研究研修・調査 報 告	1	研究研修会開催地・調査先進地 群馬県富岡市
		研究研修・調査内容 富岡市乗合タクシー「愛タク」について
	2	研究研修会開催地・調査先進地 群馬県太田市
		研究研修・調査内容 学校給食無料化事業・助成事業について
	3	研究研修会開催地・調査先進地 東京都豊島区 廣瀬行政研究所主催 地方議会議員セミナー
		研究研修・調査内容 「自治体の防災」・減災マネジメント（基礎編）
	4	研究研修会開催地・調査先進地
		研究研修・調査内容
	5	研究研修会開催地・調査先進地
		研究研修・調査内容

研究研修・調査報告（所感、提言事項、課題等）

1

研究研修会開催地・調査先進地

群馬県富岡市

研究研修・調査内容

富岡市乗合タクシー「愛タク」について

1. 富岡市の概要

- ・群馬県南西部に位置し、東京から約100km、県庁所在地前橋市から約30kmの距離にある。
- ・人口 約4万6千人、面積 122.85km²、標準財政規模 約126億72百万円
公共交通 上信電鉄、愛タク（乗合タクシー）

2. 富岡市の公共交通政策

- ・令和2年～令和6年の期間で「富岡市地域公共交通網形成計画」を策定、「将来にわたって市民生活を支え続ける公共交通の推進を目指す。
- ・上信電鉄、民間タクシー以外の公共交通・路線バス（コミュニティバス）は無く、乗り合いタクシーが市民ニーズにこたえている。

3. 富岡市乗合タクシー「愛タク」について

- ・令和3年度1月より乗合タクシー「愛タク」を運用開始
定時定路線方式から市内全域の乗降予約のある停留所間を複数乗客の相乗りにより、最も効率的なルートで運行する「区域運行方式（デマンド型）」に
- ・運賃
1乗車100円：①市内在住、在学・在勤者②小学生③障がい者（同伴者含む）
1乗車500円：上記以外の者（未就学児は無料）
- ・運行車両
7人乗りミニバン6台（うち2台は車椅子対応）平日6台、土日祝4台体制
- ・運行事業者：市内民間タクシー事業者2社（運行維持を補助金給付）
- ・乗降場所：453か所
- ・予約方法：電話・富岡市公式LINE（シンプルな操作）・スマートフォンアプリ
（地図から停留所を探せる便利な機能）
※利用希望日の5日前から20分前まで
- ・配車システム：MONETTechnologies（SBとトヨタ自動車の共同出資会社）
- ・運行実績：1年間（R3年1月～12月）40,181人が利用
従前の乗り合いタクシーより大幅に増加
- ・費用について
車両等購入費補助金（令和2年度）
9,000千円（運行事業者2社に4,500千円ずつ）車両3台ずつ新規購入の補助
配車システム賃貸借料（令和2～5年度）約2000万円
運行維持費補助金 年間約7200万円

4. 愛タク導入後の課題について

- ・デマンド型（事前予約による停留所間の運行）
長所：交通空白地域が減少、効率的な運行、乗車時刻の選択
短所：予約の必要（スマホ等の習得）、相乗りによる停留所での待ち時間の発生、到着時刻が読めない、混雑時に電話がつながりにくい

5. 高砂市との比較

- ・コミュニティバスとの併用について、それぞれの利点をいかした運用方法（路線・利用地域等）を考える必要がある。
- ・タクシー業者の積極的な協力体制・連携が前提となる。
- ・移動弱者助成としての視点からの検討が必要

研究研修・調査報告（所感、提言事項、課題等）

2

研究研修会開催地・調査先進地

群馬県 太田市

研究研修・調査内容

太田市 学校給食無料化事業について。

・太田市子育て支援条例を制定して、第3子以降、保育料免除から始り、平成25年度に学校給食費の助成を開始した。

・H25年4月1日 第3子以降給食費全額助成

・H29年4月1日 第2子給食費半額助成

・R3年4月1日 第2子以降給食費全額助成

・R4年10月1日 市立中学生の給食費無料化

・R5年1月1日 中学生第1子まで給食費助成拡充（1人年4,500円）

・R5年4月1日 市立小学生の給食費無料化

小1年第1子まで給食費助成拡充

・群馬県の県民生活向上基金として、18才以下の医療費無償の補助制度を実施しているため、

各市町村が、給食費の無料化を進めやすか、たという要因もあるようだ。

3

研究研修会開催地・調査先進地

広瀬行政研究所 地方議員セミナー

研究研修・調査内容

「自治体の防災・減災マネジメント」

- ・これは福で、新しい避難生活様式として、
学校の体育館で避難所という状況では、
少人数・分散避難生活へ。
自宅でもらす（在宅避難）。
- ・東日本大震災 反省、教訓
高齢者が約6割。障がい者死亡率は約2倍。
支援者も多数をとり、た。福祉施設や病院は
利用者を置いて逃げることでよい。
→安全な場所に立地する必要
- ・（新）福祉避難所がドンドン。（2021年5月）
市町村は、災害が発生し又は発生おそれがある
場合（災害時）で、高齢者等避難が法令上
場合などには、指定福祉避難所を開設する。
- ・災害時の議会・議員の使命
住民の命と尊厳を守る！
市町村当局と協働し、国等や国民に働きかける。
災害時でも、地方自治と民主主義を守る。